

質問回答

平成 26 年 4 月 9 日

「案件名:ラオス国国際協力・研修センター建設計画フォローアップ協力」

(公告日:平成 27 年 4 月 1 日 / 公示番号:150014)について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
1	業務指示書 p.2 第 2 調査の目的・内容に関する事項、1. 調査の背景、第 2 段落	「水ポンプのコントロールパネルに不具合」とありますが、具体的にどのような不具合かご教示ください。	水ポンプ 2 台が交互に稼働している状況であり、コントロールパネル内のリレー不良と考えられます。
2	業務指示書 p.2 第 2 調査の目的・内容に関する事項、1. 調査の背景、第 2 段落	「視聴覚機材の一部が使用できない状況」とありますが、不具合が生じている機材の名称、数量、不具合の内容についてご教示ください。	視聴覚機材のうち、音響設備が使用できない状況です。具体的な機器、数量については、本調査の中で確認します。
3	業務指示書第 3 業務実施上の条件-1.調査工程の表	業務指示書第 3 業務実施上の条件-1.調査工程の表で現地調査 の棒線が白抜き表示となっておりますが、これは現地調査ですので黒棒と考えてよろしいでしょうか	指示書記入の誤りでした。 現地調査(黒棒)になります。
4	業務指示書第 3 業務実施上の条件-1.調査工程の表	同表、施工監理の表現が、11 から 3 月まで黒棒となっておりますが、本件では、ご提示された M/M および業務支持書第 2(5)、4)「施工監理計画書の作成」に日本人が不在の期間の監理方法を検討との項目があり、施工監理は、常駐監理ではなく、その期間中に適宜スポット要員を派遣すると考えてよろしいでしょうか	必ずしも日本人が常駐する必要はありませんが、質を保ちつつ、効率的な監理ができるよう監理体制についてプロポーザルでの提案をお願いいたします。

以上